

2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場会社名 株式会社キャリア 上場取引所 東
 コード番号 6198 URL https://www.careergift.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 川嶋 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 羽鳥 雅之 (TEL) 03-6863-9450
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	6,196	15.7	△72	—	△76	—	△72	—
2019年9月期第2四半期	5,354	—	133	—	149	—	79	—

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 △77百万円(—%) 2019年9月期第2四半期 82百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	△8.55	—
2019年9月期第2四半期	9.44	9.43

(注) 2019年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、2019年9月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	3,130	1,244	38.4
2019年9月期	3,131	1,350	41.7

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 1,202百万円 2019年9月期 1,306百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	2.50	—	3.75	6.25
2020年9月期	—	0.00			
2020年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	—	0	—	0	—	40	—	4.64

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2019年9月期第2四半期より連結財務諸表を作成しているため、対前年増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年9月期2Q	8,624,320株	2019年9月期	8,622,080株
2020年9月期2Q	118,600株	2019年9月期	118,600株
2020年9月期2Q	8,504,395株	2019年9月期2Q	8,398,713株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の拡大や雇用、所得環境の改善など緩やかな回復基調が続いていたものの、新型コロナウイルス(COVID-19)感染の世界的な広まりにより、国内外の経済活動に対するマイナス影響が顕在化しております。

人材サービス業界を取り巻く環境におきましては、厚生労働省が発表した2020年2月の有効求人倍率が1.45倍と高水準の状態が継続していることに加え、総務省統計局が発表した2020年2月の完全失業率の指数は2.4%と低水準に留まる等、人材需要は高止まりが続いておりましたが、同様に新型コロナウイルスの影響により、今後については不透明な状況であります。

このような経済状況のもと、当社グループの運営する「高齢化社会型人材サービス」の環境は、内閣府の2019年版高齢社会白書によりますと、当社で定義しておりますアクティブシニア(55歳以上の働く意欲のある人)の労働力人口(55歳以上)は、2018年度の推計で2,050万人(前年対比3.2%増)、総労働力人口の30.0%を占めております。アクティブシニアの労働力人口は、年々増加傾向にあり、当社の事業領域も拡大していくことが見込まれます。

このような経営環境の中、当社は継続的な企業価値の向上を実現すべく、既存事業の継続成長及び中長期での業績向上を目的とした新たな取り組みを実施してまいりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比841,826千円(15.7%)増収の6,196,266千円、営業損失は、206,200千円減益の72,394千円、経常損失は、225,465千円減益の76,144千円となりました。これに特別損失、法人税等を加減した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は、前年同期比152,017千円の減益の72,745千円となりました。

なお、当社グループは、「高齢化社会型人材サービス」の単一セグメントであります。事業別の業績を示すと以下のとおりであります。

① シニアワーク事業

シニアワーク事業は、主にコールセンター、公共機関における事務作業を行うホワイトカラー職種及びビルメンテナンス、ベッドメイキング、ロジスティックスなど、身体的な作業を行うブルーカラー職種の2分野においてアクティブシニアの人材派遣、人材紹介及び業務請負を行っております。

ホワイトカラー職種においては引き続き旺盛な需要と供給力を強みに2020年4月での沖縄県における子会社設立を決定し、当該職種の取り扱い開始を予定しております。また、ブルーカラー職種においては2020年1月に横浜支店、神戸支店で新たに当該職種の取り扱いを開始し、引き続き既存事業の業績拡大に努めてまいりました。

この結果、シニアワーク事業の売上高は2,284,039千円(前年同期比6.1%増)となりました。

② シニアケア事業

シニアケア事業は、主に介護施設に対して、看護師や介護士等の有資格者の人材派遣、人材紹介及び紹介予定派遣を行っております。2020年2月に新たに鹿児島支店を開設するとともに、既存支店内での担当地域細分化により新たにチームを設立し、営業活動の深堀を図ることで既存事業の業績拡大に努めてまいりました。また、2020年3月より訪問介護事業を開始し、中長期での成長力強化に努めてまいりました。

この結果、シニアケア事業の売上高は3,912,227千円(前年同期比22.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、現金及び預金などが減少したものの、売掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して405千円減少し、3,130,693千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、未払法人税等などが減少したものの、未払費用、賞与引当金、流動負債のその他が増加したことなどにより、前連結会計年度末と比較して104,964千円増加し、1,886,052千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、剰余金の配当などにより、前連結会計年度末と比較して105,370千円減少し、1,244,640千円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の41.7%から38.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は、1,141,273千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は17,570千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純損失79,024千円の計上、のれん償却費33,353千円の計上、未払費用の増加46,696千円、売上債権の増加40,260千円、未払消費税等の増加77,476千円、法人税等の支払額12,321千円が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は45,822千円となりました。

これは主に、差入保証金の差入による支出14,617千円、有形固定資産の取得による支出5,845千円、無形固定資産の取得による支出26,756千円が生じたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は42,257千円となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出11,016千円、配当金の支払額31,801千円による支出が生じたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2020年2月21日に公表した通期連結業績予想の修正より追記の修正はございません。

また、新型コロナウイルスの感染拡大における業績へ与える影響は軽微です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,211,784	1,141,273
売掛金	1,272,289	1,312,550
その他	64,953	94,716
貸倒引当金	△2,106	△1,044
流動資産合計	2,546,920	2,547,496
固定資産		
有形固定資産	43,346	52,456
無形固定資産		
のれん	282,765	249,411
その他	37,952	49,231
無形固定資産合計	320,717	298,643
投資その他の資産	220,114	232,096
固定資産合計	584,178	583,196
資産合計	3,131,099	3,130,693
負債の部		
流動負債		
短期借入金	715,408	705,412
未払費用	640,905	686,161
未払法人税等	19,723	13,091
賞与引当金	37,781	45,626
返金引当金	91	38
その他	312,385	375,040
流動負債合計	1,726,295	1,825,370
固定負債		
長期借入金	5,298	4,278
資産除去債務	49,494	56,403
固定負債合計	54,792	60,681
負債合計	1,781,088	1,886,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	157,310	157,590
資本剰余金	137,310	137,590
利益剰余金	1,163,976	1,059,343
自己株式	△152,306	△152,306
株主資本合計	1,306,290	1,202,217
新株予約権	13,762	17,384
非支配株主持分	29,957	25,038
純資産合計	1,350,010	1,244,640
負債純資産合計	3,131,099	3,130,693

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	5,354,440	6,196,266
売上原価	4,232,703	4,963,976
売上総利益	1,121,737	1,232,290
販売費及び一般管理費	987,930	1,304,684
営業利益又は営業損失(△)	133,806	△72,394
営業外収益		
受取利息	323	37
助成金収入	10,208	408
消費税差額	6,342	—
保険解約返戻金	—	912
その他	1,361	265
営業外収益合計	18,235	1,623
営業外費用		
支払利息	273	1,810
持分法による投資損失	2,435	3,562
その他	11	0
営業外費用合計	2,721	5,373
経常利益又は経常損失(△)	149,321	△76,144
特別損失		
固定資産除却損	5,031	2,880
特別損失合計	5,031	2,880
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	144,289	△79,024
法人税、住民税及び事業税	58,264	6,310
法人税等調整額	3,125	△7,671
法人税等合計	61,389	△1,360
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,899	△77,663
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,627	△4,918
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	79,272	△72,745

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,899	△77,663
四半期包括利益	82,899	△77,663
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,272	△72,745
非支配株主に係る四半期包括利益	3,627	△4,918

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	144,289	△79,024
のれん償却額	16,716	33,353
減価償却費	8,652	9,926
固定資産除却損	5,031	2,880
持分法による投資損益(△は益)	2,435	3,562
株式報酬費用	6,197	3,621
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△336	△1,062
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,033	10,796
返金引当金の増減額(△は減少)	△295	△52
受取利息	△323	△37
支払利息	273	1,810
売上債権の増減額(△は増加)	△89,715	△40,260
未払費用の増減額(△は減少)	57,265	46,696
未払消費税等の増減額(△は減少)	△55,118	77,476
その他	△22,840	△38,030
小計	76,266	31,655
利息及び配当金の受取額	323	37
利息の支払額	△269	△1,801
法人税等の支払額	△80,626	△12,321
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,306	17,570
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,019	△5,845
無形固定資産の取得による支出	△5,100	△26,756
資産除去債務の履行による支出	—	△1,059
短期貸付けによる支出	△70	△182
短期貸付金の回収による収入	45	157
差入保証金の回収による収入	213	2,182
差入保証金の差入による支出	△15,457	△14,617
その他	—	297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,389	△45,822
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△90,506	△11,016
配当金の支払額	△31,930	△31,801
株式の発行による収入	40	560
自己株式の取得による支出	△499,909	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,306	△42,257
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△151,002	△70,510
現金及び現金同等物の期首残高	1,132,792	1,211,784
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	93,000	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,074,790	1,141,273

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

当社は、高齢化社会型人材サービスの単一セグメントであるため、記載を省略しております。